

校長室から応援メッセージ(2)

令和8年6月19日(金)

「人生は記憶である」

皆さん、こんにちは。さて、今から48年前、私は東京で予備校生をしていました。アパートと予備校を往復するだけの単調な毎日でしたが、月一回、三鷹駅南口の名画座で3本立ての映画を鑑賞、夕食は映画館近くのスーパーマーケットの2階にある食堂で、AランチかBランチ(エビフライかハンバーグかの違いでした)のどちらかを注文する、それが大切な儀式でもあり、ささやかな楽しみでした。

48年があっという間に過ぎ去りましたが、そのあっという間を通してずっと私は、月一回の映画とAランチかBランチかの記憶とともに予備校時代の記憶を大切にしたいと思ってきました。人生の出来事は、時の経過とともに自分にとってのその意味を変えていきますが、大切にしたい記憶として振り返るのは、振り返る自分も振り返られるほうの自分も懸命に生きていけばこそ、と思います。

皆さんには、大学入試を目指している今の自分、時に不安に、時に迷い、そんな今の自分の様々な受け止め方を超えて、これからの人生において、しみじみと感慨深く振り返る…、そういう人生を歩んでほしいと思います。

「人生は記憶である」。私はそのように考えます。Aランチを前に「Bランチにすればよかったかな」と後悔しつつ、それでもニコニコしていた自分の姿を、決して記憶の中から失いたくないと思うように、皆さんも、予備校で頑張る、記憶の中の自分の姿を生涯、大切にしてください。頑張るとは、何の不安もなく一心に取り組む姿…というよりも、不安で立ち尽くすことがあっても再びそこから歩き始める、そういう姿なのだと思います。

本格的な夏が迫っています。前期の授業、夏期講習会と続きますが、暑さに負けず元気に山梨予備校に通い続けてください。甲府駅ビル5階のサイゼリヤで月1回はビーフステーキを注文する、そういう楽しみもいと思います。ちなみに私は行けば必ず「柔らかか青豆の温サラダ」を注文します。柔らかか青豆と半熟ゆで卵が絶妙の組み合わせです。それはさておき、引き続き、皆さんの健闘を祈ります。